

## 使用上のご注意

- この製品は、救命胴衣や浮き輪などとは違い、人命救助や危険を回避するための製品ではありませんので、ご注意ください。
- コーティングやラミネートが、はく離する場合がありますので、手洗いで洗濯してください。
- 濡れた状態での放置や浸け置き洗いは、お避けください。
- 洗濯や、着用、摩擦により色落ちや色移りする場合がありますので、ご注意ください。
- 洗濯の際は、ポンプを外して完全に空気を抜き、チューブのボールストッパーをしっかりと留めてチューブの先が水に付かないようにして、ファスナーを閉じて洗濯してください。
- 蛍光増白剤のっていない洗剤を使用してください。
- 洗濯後は、手で弱く絞ってから、裏返して日陰で吊り干ししてください。
- タンブラー乾燥は、お避けください。
- 長さ調節器具は、他の物に引っかかり反動で人体に当たる場合や、引っかかりや摩擦により他の衣類や物を傷つける場合がありますので、ご注意ください。
- 空気を入れるチューブは、引っかかったり摩擦により、他の衣類を傷つける場合がありますので、ご注意ください。
- 素材の特性上、長時間の摩擦や揉み作用で毛玉が出来やすいので、ご注意ください。目立つ毛玉は、ハサミや毛玉取り器で取り除いてください。
- 湿気などにより、製品劣化の原因になりますので、水分を取り、湿度、温度の低い風通しの良い場所で保管してください。
- はっ水加工が施されております。汗や泥などの汚れが付着したまま放置すると、カビが発生したり洗濯により表面の、はっ水性が低下する場合がありますので、ご注意ください。
- 防水加工は施されておきませんので、ご注意ください。
- 空気を入れて保温性を保つ製品ですので、生地やチューブの破れや傷などには、ご注意ください。軽度の傷でも空気が漏れる場合がありますので、取り扱いには、ご注意ください。

### ポンプ部分 取り扱い上のご注意

- 空気を入れる際は、専用のポンプを使用し、入れ過ぎには、ご注意ください。
- 空気を入れ過ぎると着用中に負荷が掛かりすぎ、縫い目や圧着部分が破損する場合がありますので、ご注意ください。
- 空気を入れ終わりましたら、チューブのボールストッパーをしっかりと留めて、着用してください。
- 空気を入れ終わりましたら、ポンプは無くさないよう、保管してください。
- 専用のポンプは他の用途には、ご使用にならないでください。
- 空気は徐々にですが自然と漏れていきます。空気が減ってきたら再度ポンプで空気を入れなおしてください。
- 空気を抜く際は、チューブのボールストッパーを所定のくぼみにずらして、ゆっくり空気を抜いてください。無理に空気を抜こうとすると、製品の破損に繋がりますので、ご注意ください。
- 空気を入れるチューブが破損すると、空気が入られなくなりますので取り扱いには、ご注意ください。
- チューブを衣服から外さないで、ご使用ください。